IWATE UNIVERSITY SENIOR COLLEGE 2012

岩手大学 2012年度 シニアカレッジ

イーハトーヴの学舎 復興へ・ジオサイト・語り伝える

賢治

提供 林風舎

啄木

宮澤賢治が学んだ旧盛岡高等農林学校本館
（現・農業教育資料館）※国指定重要文化財

岩手大学正門

奇跡の一本松
（陸前高田市／高田松原）
提供：一本松プロジェクト

津波記憶石
（釜石市／根浜海岸）
提供：釜石市

2012年9月19日水～25日火

●主 催　国立大学法人 岩手大学
●共 催　盛岡市、花巻市、釜石市、陸前高田市、大槌町
●後 援　岩手県、宮沢賢治学会イーハトーブセンター、(財)石川啄木記念館、(財)岩手県観光協会、(財)盛岡観光コンベンション協会、(社)花巻観光協会、釜石市観光物産協会、陸前高田市観光物産協会

三陸復興
あの大震災津波から1年　復興に向けて一歩ずつ

岩手大学
シニアカレッジ2012

岩手大学シニアカレッジは、岩手大学と岩手県内の自治体や各地域の方々が連携して実施する滞在型生涯学習プログラムです。「学びたい」という動機があれば、どなたでも参加できます。年齢制限や入学試験はありません。

大学構内の専用教室での講義やフィールドワークなどを通じて、受講生同士の交流、地元、学生たちとの出会いの場ともなります。豊富に経験を積まれたこの時こそ、学べる、学び直せるという楽しみを存分に味わってみませんか。

岩手大学シニアカレッジの特徴

「何かの機会に学び直したいと思っていた」、「前々から知りたいと思っていた」など、本格的に学びたいというお声を良くお聞きします。岩手大学は、皆様の向学心にお応えしたいと思い、滞在型生涯学習事業として、岩手大学シニアカレッジを企画しました。

岩手大学シニアカレッジに入学された皆様は、「岩大（がんだい）生」として毎日岩手大学に通学して学んでいただくこととなります。そこで、大学教員や地域の方々を講師に授業を受け、正に学生時代に戻ったような毎日を過ごしていただくこととなります。もちろん、学生と同じように学生食堂や図書館、大学生協などの施設を利用できますし、図書の貸し出し(無料)も受けられます。

カリキュラムは、岩手大学の研究成果と「いわて」の地域性を加味した内容とし、岩大キャンパスを飛び出す学外授業もあります。

今回は、東日本大震災により生じた三陸海岸のジオサイトを実際に目にしていただく授業を設定しました。

東日本大震災は、2011年3月11日14時46分、宮城県の牡鹿半島東南東沖約130㎞の海底を震源として発生し、M9の規模（日本観測史上最大、最大震度7）を記録しました。震源域は、岩手県沖から茨城県沖までの南北約500㎞、東西約200㎞に及び、この地震による津波は最大遡上高40mを上回る大津波となり、沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。

今回の震災では、想定外という言葉がよく用いられましたが、過去の大災害が風化し、我々の記憶から忘れ去られてしまっていたという面も否めません。

2012年度シニアカレッジでは、自然の持つ驚異を知るとともに、後世の代に語り継いで行くことの大切さや、先人達からの伝えなどを学ぶとともに、復興に向けて力強く歩み続けている地元の方々との触れ合いも体験していただきたいと思います。

また、賢治さんの命日に毎年行われている「賢治祭」にもシニアカレッジとして初めて参加することとしておりますし、石川啄木没後100年の節目にあたる本年に沿った特別講座も設定しています。

これまでとは違った岩手の魅力に触れられ、皆様の向学心をきっと満足していただけるものと確信しております。「イーハトーヴの学舎　岩手大学キャンパス」で皆様をお待ちしております。

※ジオサイト：火山活動や浸食等の地球活動に伴い形成された自然景観
（ジオパークとジオツーリズム）　「ジオパーク」は、「地質学（ジオロジー）」と「公園（パーク）」を組み合わせた造語でジオは地質学のみならず地球を示し、広く自然の遺産に親しんでもらおうといるものです。「ジオツーリズム」は、それらの自然遺産を教育に活用するもので、地球環境を学びながら観光に生かす取り組みです。

お申し込みから受講まで

- 岩手大学シニアカレッジ事務局へご連絡ください。参加申込書をお送りいたします。
- 参加申込書に必要事項をご記入の上、岩手大学シニアカレッジ事務局宛に郵送またはFAXでお申し込みください。

※ 参加申込書到着後、シニアカレッジ事務局から開講までの案内書をお送りします。申し込み後、10日経っても案内書が届かない場合には、お手数ですが電話連絡をお願いします。

※ 先着順に受付します。定員になり次第申し込みを締め切ります。

- 受講料　70,000円（税込・1泊1食込）

※ この事業は、国立大学法人岩手大学の収益事業ではありません。

● 受講料に含まれるもの
全14講義受講料、入学式、オリエンテーション、学内施設利用、おでんせパーティー、移動バス料金、学外施設入館料、卒業式、どんとはれパーティー

※ 9／23（日）の釜石市内の宿泊費（1泊1食（朝食））が含まれます。

● 受講料に含まれないもの
上記以外の宿泊・滞在費、ご自宅～岩手大学～ご自宅までの交通費

参加申込書の送付 ▶ 受講料のお支払 ▶ 事前学習 ▶ シニアカレッジ開講

- 特別補償
本学は、シニアカレッジ期間中について、国内旅行傷害保険に加入します。お客様がシニアカレッジ参加中に急激かつ偶発な外来の事故により、その身体または手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲内において、補償金が保険会社から支払われます。
・死亡後遺障害　9,680万円　・入院保険金日額　5,000円　・通院保険金日額　3,000円　・携行品損害　10万円（限度額）

● 国内旅行保険への加入について
お客様が事故に遭われた場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難である場合があります。このことから、お客様ご自身で十分な額の国内旅行保険に加入されることをお勧めします。

岩手大学キャンパスのご案内

岩手大学情報メディアセンター 図書館
二階の専用教室が通常の講義会場となります。

農業教育資料館
旧盛岡高等農林学校時代の本館です。残念ながら、現在、耐震改修工事中のため入館できません。
（再オープンは年明けとなる見込みです。なお、ミュージアム本館は通常どおり開館しています。）

岩手大学へのアクセス

- バス（盛岡駅前バスターミナル11番のりば）
  - ◎岩手県交通バス 駅上田線
    乗車…「松園バスターミナル行き」　下車…「岩手大学前」
  - ◎岩手県交通バス 駅桜台団地線
    乗車…「桜台団地行き」　下車…「岩手大学前」
- タクシー利用　盛岡駅から約2km　約10分
- 徒歩　盛岡駅から約25分

浜辺の料理宿 宝来館
海と山と大地と共に、暖かく気取りのない雰囲気でふるさとを作って皆様をお待ちしております。松林の先に広がる浜辺から一日の始まりを告げる朝日が皆様を優しく包み込んでくれます。地元釜石の食材にこだわった浜料理をご賞味下さい。

おらが大槌復興食堂
2011年3月11日「東日本大震災」によって、我が町「大槌町」は、大きな大きな傷を負いました。愛すべき町は、当時を思い出すことが難しくなるほど姿を変えました。「大槌町」を本気で復興したい人たちの熱い想いが集まって「おらが大槌復興食堂」はオープンしました。「食堂」は、人々が気軽に集まれる場所です。いつか、この町が笑顔で溢れ、多くの人に愛される町になる日まで、「食堂」は光を灯し続けます。

玉山金山
陸前高田市竹駒町には、玉山金山と呼ばれた金山跡があります。気仙地方の金鉱埋蔵量は膨大で、平安時代から明治時代まで産金されました。かつての平泉黄金文化を支えたと言われています。玉山金山最盛期の主坑であった「千人坑」から湧き出る水が疲労回復や皮膚病に効能があるとされ、仙台藩時代には地域住民に無料で開放されていました。現在では、「霊泉玉乃湯（陸前高田市玉山山林休養施設）」として、多くの方々の憩いの場となっています。

スケジュールと講義内容

●講義6～講義13は、全て学外会場となります。9／23(日)は初日に釜石市へ移動し、その日は釜石市内に宿泊となります。その際の宿泊料(朝食込み)は、受講料に含まれています。
●学外会場への移動バス料金は、受講料に含まれています。

スケジュール	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
1日目 9/19(水)						受　付	入学式	休憩	講話① 岩手県知事 達増拓也	講話② 岩手大学長 藤井克己	講義1 岩手大学が進める三陸復興支援について 岩手大学副学長　岩渕 明	オリエンテーション / 移動 / おでんせパーティー ～20:00
2日目 20(木)		講義2 ノーベル科学賞に学ぶ ―研究機関としての大学― 岩手大学副学長　小川 智		休憩	講義3 岩手三陸の復興まちづくりについて 岩手大学工学部 教授　南 正昭	昼休み	講義4 被災地の小さな力の商品開発 岩手大学 客員准教授　五日市知香 氏	放課･自由時間				
3日目 21(金)	自由時間					講義5 サラリーマン宮澤賢治 その生と死 岩手大学大学教育総合センター　佐藤竜一	移動〈盛岡～花巻〉 解説:花巻市 高橋輝夫氏　於:金婚亭　移動(金婚亭～桜町詩碑)			講義6 2012年賢治祭 (財)宮沢賢治記念会		※終了20時頃
4日目 22(土･祝)	移動〈市内～玉山〉	講義7･8･9 【啄木没後 100 年企画】 啄木学級 in シニアカレッジ　愛され続ける啄木 (財)石川啄木記念館 学芸員　山本玲子 氏									移動	
5日目 23(日)	移動〈盛岡～釜石〉			講義10 【ジオツーリズムin釜石市①】 津波の爪痕と先人からの言い伝え 釜石市鵜住居町 漁師　佐々木虎男 氏		昼休み (おらが大槌復興食堂)	講義11 【ジオツーリズムin釜石市②】 『海』とともに生きる！ 釜石市宝来館 女将　岩崎昭子 氏				休憩	夕食･懇親会 (宝来館泊)
6日目 24(月)	移動〈釜石～陸前高田〉		講義12 【ジオツーリズムin陸前高田市①】 震災の状況と一本松 ―復興への道のり 陸前高田市一本松プロジェクト 代表　菅野 修 氏			移動 市内～玉乃湯　昼休み(玉乃湯)	講義13 【ジオツーリズムin陸前高田市②】 産金地気仙と平泉 ～史実とロマンの探訪～ 陸前高田市観光物産協会　實吉義正 氏			移動〈陸前高田～盛岡〉		
7日目 25(火)		講義14 放射能･放射線とわたしたちの暮らし 岩手大学副学長　西崎 滋		休憩	卒業式	移動	どんとはれパーティー					

岩手大学副学長
岩渕 明

講義 1

岩手大学が進める三陸復興支援について

岩手大学では、本年4月1日より、既存の復興支援組織を発展的に改組し、「岩手大学三陸復興推進機構」として発足させました。機構の中に、教育支援･生活支援･水産業復興推進･ものづくり産業復興推進･農林畜産業復興推進･地域防災教育研究の6部門を配置し、沿岸部の活動拠点として、釜石市に釜石サテライト及び久慈市にエクステンションセンターを設置し活動体制を強化しました(宮古市及び大船渡市にエクステンションセンターを設置予定)。三陸沿地域における「なりわい」を復興･再生することを基本に、教育、心のケア等幅広く取り組んでいる状況についてお話しします。

岩手大学副学長
小川 智

講義 2

ノーベル科学賞に学ぶ
―研究機関としての大学―

現代における最先端の科学･技術は、多くの先達が「所与性の自然認識」の中で、独自の「科学的直感」に基づき研究を行い、自然現象を「論理的思考」によって解明しようと取り組んだことによる成果です。我が国は、自然科学部門として、物理学賞7名、化学賞7名、医学･生理学賞1名を輩出し、世界7位というトップクラスにあります。本講義では、ノーベル化学賞を中心に、先達が解明した科学が最先端の技術に、どのように結びついているかについて、実例を示しお話しします。

岩手大学工学部
教授
南 正昭

講義 3

岩手三陸の復興まちづくりについて

東日本大震災に伴い大きな被害を受けた岩手県三陸沿岸では、現在、復興まちづくりへの取り組みが進められています。本講義では、震災からこれまでの復旧･復興への取り組みについて概観するとともに、今後進められる復旧･復興や支援活動において、注視すべき点について解説します。行政との協働により復興後のまちの絵姿をどのように描いていくべきか、住民主体のまちづくりはどのように進められているのか等について、実際の取り組み事例をもとに講述します。

岩手大学 客員准教授
㈱パイロットフィッシュ
代表取締役社長
五日市 知香 氏

講義 4

被災地の小さな力の商品開発

「いわて三陸の魅力」は、「美味しい三陸の味」にあります。その味を発信してきた水産加工業者の大半が、小さな資金力とノウハウの少ない零細事業者です。ここが復活しなければ三陸の産業は復興しません。「小さな力の商品開発」の事例を交え、三陸復興のキーワードを探ります。商品には「単なる発想」や「単なる味覚」と思われるものが豊富に存在しますが、そこに消費者が納得するストーリーを創造し、発信できるようにすれば、生産者も愛着を持ち、消費者も納得する相互理解が進むものと思っています。

岩手大学
大学教育総合センター
佐藤 竜一

講義 5

サラリーマン宮澤賢治その生と死

今や世界的に知られる作家･詩人となった宮澤賢治ですが、生前原稿料をもらったのは一度きりだったことはあまり知られていません。賢治は、ほとんど無名のままに生涯を終えた、一介のサラリーマンにすぎませんでした。本講では、技師兼セールスマンとして奔走した東北砕石工場で勤務した日々を追いながら、「雨ニモマケズ」に込められた賢治の思いを共に感じ取りたいと思います。

講義 6

2012年賢治祭

宮澤賢治の命日である9月21日に、花巻市内の賢治詩碑がある所で賢治祭が行われます。この場所は、生前賢治がひとりの農民として自炊生活をした羅須地人協会の建物があったところです。賢治祭では、献花、賢治の詩の朗読、賢治がつくった歌の合唱などが行われます。賢治ゆかりの地で、賢治の世界を楽しみましょう。

㈶石川啄木記念館
学芸員
山本 玲子

講義 7･8･9

石川啄木没後100年企画
啄木学級in シニアカレッジ
愛され続ける啄木

今年は石川啄木没後百年にあたります。啄木が愛されてきた理由を啄木の歌の中から探ってみます。また、歌いたいことを自由に歌にすることができた啄木ですが、受講生の皆さまにも歌を創作していただき、楽しく鑑賞したいと思います。「忙しい生活の間に心に浮かんでは消えてゆく刹那刹那の感じを愛惜する心が人間にある限り、歌というものは滅びない」と啄木が述べるように、いつまでも歌が愛される社会を考察します。

釜石市鵜住居町
漁師
佐々木 虎男 氏

講義 10

ジオツーリズムin釜石市①
津波の爪痕と先人からの言い伝え

釜石市の鵜住居町には、長持とか蛸(多郷)という地名が残されています。この地区は、鵜住居川(大槌湾)から深く内陸に入った所なのですが、その昔、津波により長持や蛸が多く流れ着いたことからこの地名がついたと伝えられてきました。この言い伝えは、確たる証拠が残されていなかったこともあり、人々の記憶からは消し去られてしまいました。大きな災害である程、被害に遭った地区には古くからの言い伝えが残されています。この機会に先人からの言い伝えを学び直そうと思います。

釜石市 宝来館
女将
岩崎 昭子 氏

講義 11

ジオツーリズムin釜石市②
『海』とともに生きる！

「とうとうこの日が来たか。」今までに経験したことの無い大きく長い揺れで、そう思いました。咄嗟に津波が来ると思い、皆に裏山に作ってあった避難路へ逃げるよう呼びかけましたが、襲いかかったのは予想を遙かに超える大きな波でした。その夜は、助かった人々とともに度重なる大きな余震に震えながら過ごしましたが、「生きっぺし」と思いを強く持ち一塊になって朝が来るのを待ちました。私がいた地区は孤立状態となり、救援が来るのにも時間がかかりましたが、その間、誰が言う出すわけでもなく、皆自発的に生きるため工夫しながら働きました。一度壊れてしまった海ですが、私は『海』とともに生きようと決心しました。これからの釜石･根浜についても、描いて行きたいまちがあります。復興に向けた思いを皆さんと共有できたら、とても素晴らしいと思っています。

陸前高田市
一本松プロジェクト
代表
菅野 修 氏

講義 12

ジオツーリズムin陸前高田市①
震災の状況と一本松 ―復興への道のり

陸前高田市の高田松原に2キロにわたって7万本の松が植えられていました。春は合宿地に、夏は多くの海水浴客を迎え、また、地域住民の安らぎの場となっていた松林。しかし、その松林は、平成23年3月11日大津波に飲み込まれ、たった一本に…高さ30メートル、樹齢250年を超える老松は今「奇跡の一本松」と呼ばれています。江戸の春、先人が植樹し、海と人間の間に立ち続け、私たちの営みを見守り続けた松林…津波による塩害で、本来青々と茂っているはずの葉が茶色く変色しながら立ち続けている姿は、私達市民に勇気と元気を与えております。一本松プロジェクトは「奇跡の一本松」に勇気をもらい故郷、陸前高田市や美しい高田松原を再生するために何かできることがないか…そんな思いから始まった、一避難所の女性たちから始まったプロジェクトです。一人では小さな力でもそれぞれの個性、長年の経験や技を生かして…支援されるだけではなく、自らの生き甲斐と復興の一助にと…

陸前高田市
観光物産協会
實吉義正 氏

講義 13

ジオツーリズム
in陸前高田市②
産金地気仙と平泉
～史実とロマンの探訪～

玉山を中心とする気仙地方一帯は、743年の日本初の金発見以来近世まで、数多くの黄金に関わる史実とロマンに彩られた歴史の道を歩んできました。奥州藤原政権は、わずか四代百年の興亡ながら、日本史上不滅の栄華をもって語られる理由のひとつに黄金があります。平泉黄金文化の象徴的事例が「金色堂」であり「宋版一切経」ですが、ジパング伝説発祥の源ともいわれる「みちのくの金」に関わる「黄金伝説」の夢探訪に想いを馳せてみたいと思います。

岩手大学副学長
西崎 滋

講義 14

放射能･放射線とわたしたちの暮らし

東日本大震災における東京電力福島第1原発事故は、広範囲にわたる放射能汚染と放射線被曝をもたらすとともに我が国のエネルギー供給のあり方を通じて、われわれの暮らしに大きな影響を及ぼすこととなりました。自然界にはカリウム40などの放射性物質、いわゆる放射能が存在し、また、医療によるものも含めて、わたしたちは日々の暮らしの中で放射線被曝をしています。そうした被曝と原発事故による被曝がわれわれの体に及ぼす影響(リスク)について解説します。原子力発電はわが国の電力供給の3割程度を担っていましたが、今回の原発事故はその技術としての脆弱性をあらわにしました。エネルギーは食糧、環境とともにわれわれの暮らしに必須のものであり、講義では、今後、原子力発電をどうすべきか、エネルギー供給のあり方はどうあるべきかについて考えてみたいと思います。

お申し込み・お問い合わせは

国立大学法人 岩手大学
岩手大学シニアカレッジ事務局
（岩手大学地域連携推進センター内）

〒020-8551 岩手県盛岡市上田四丁目3番5号
TEL.019-621-6492、6852　FAX.019-621-6493
E-mail renkei@iwate-u.ac.jp

【募集要項】

①**募集人員**　30名
②**最少実施人員**　20名
③**開催期間**　2012年（平成24年）9月19日（水）～9月25日（火）
④**開催場所**　岩手大学（盛岡市上田三丁目18番8号）
⑤**参加資格**　学習意欲をお持ちの方（年齢制限、入学試験ともにありません）
⑥**受 講 料**　70,000円（消費税込み、1泊1食（朝食）込み）
※この事業は、国立大学法人岩手大学の収益事業ではありません。

⑦**受講料に含まれるもの**
全14講義受講料、入学式、オリエンテーション、学内施設利用、おでんせパーティー、移動バス料金、学外施設入館料、卒業式、どんとはれパーティー
※ 9／23（日）の釜石市内の宿泊費（1泊1食（朝食））が含まれます。

⑧**お客様でご負担していただくもの**
上記以外の宿泊・滞在費、ご自宅～岩手大学～ご自宅までの交通費

⑨**お申し込み方法**
岩手大学シニアカレッジ事務局へご連絡ください。事務局より参加申込書をお送りします。
その申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXでお申し込みください。

⑩**中　　止**
申し込みが最少実施人員に達しない場合は、シニアカレッジを中止することがあります。
中止の決定は、シニアカレッジ開催日の30日前に行い、シニアカレッジ事務局から皆様に連絡差し上げます。

【個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は、国立大学法人岩手大学によるシニアカレッジ関係の各種案内、大学情報、旅行・観光情報やその他の生活関連情報をご提供するために使わせていただきます。それらの目的以外に使用する場合には、事前にお客様に通知して同意をいただきます。
また、ご提供いただいた個人情報は慎重に管理し、紛失、漏洩等を防止するために、完全管理を講じています。

【受講のご案内】

■シニアカレッジ申し込み方法
●シニアカレッジ事務局へ申込書を郵送またはFAXでお送りください。申込書到着後、シニアカレッジ事務局より「岩手大学シニアカレッジのお手続きについて」をお送りします。お申し込み後、10日たっても案内書が届かない場合には、お手数ですがお電話ください。

■シニアカレッジ申込上の注意
●受講のお申し込み受付は、先着順とさせていただきます。

■お支払い方法は、金融機関への振り込みとなります。
●受講料振込の際の手数料は、お客様の負担となります。
●受講料のお支払いは、請求書をお受け取り後、1週間以内にお願いいたします。
●受講料は、すべて消費税を含む料金です。

■キャンセル
●キャンセルの場合は、電話でご連絡ください。シニアカレッジ開始日以降のキャンセルによる受講料の返金はいたしません。
※Eメールでのキャンセルの受付は一切いたしませんのでご注意ください。
●キャンセルの場合には、規定の取消料及び返金手数料（振込手数料）を差し引いてご返金します。

■シニアカレッジの変更
●講師の緊急の都合等による場合、中止・延期・時間変更・時間短縮・別の講師の代替えとなることがありますので、予めご了承ください。

■その他
●大学キャンパス内での喫煙はご遠慮ください。
●貴重品は必ず手元におき、盗難・紛失にはご注意ください。